

特集

優良建設工事技術者表彰を受賞した 今期最年少3名へのインタビュー

栃木県が発注し、県内建設業者が施工した建設工事で、過去5年間に優秀な成績を残した技術者に贈られる「令和6年度優良建設工事技術者表彰」（今年度受賞者74名）を弱冠26歳で受賞された3名のお話を伺うことができました。

おお はし かい せい
大橋 魁星さん

相良建設株式会社

土木本部 土木部 土木課

◆仕事内容/現場管理(土木)



受賞対象となった現場



—今の仕事を選んだきっかけや動機はどのようなことでしたか。

私が土木について触れたのは、高等学校の建築・土木学科に入学した時でした。

もともと建築に興味がありましたが、土木も学ぶうちに土木のほうが自分には合っていると感じ、現在の会社に就職するに至りました。

—今回の表彰を受けられた工事で特にご苦労された点などがあればお聞かせください。

冬季の工事では、積雪や凍結対策に少し苦労しました。



工作中

—この仕事で感じるおもしろい部分、反対に苦労を感じているのはどのようなことですか。

建設現場では、多くの方々とは協力して工事を進めていく中で知識を得たり、現場の方々とは相談しながら完成に向かい形が見えていくことに面白さを感じます。関係者との調整には少し苦労します。

—今後の夢や目標を教えてください。

まだ経験していない工法や工種に携わってみたいです。また、新しい資格を取得していきたいです。

—次世代を担う若者たちへメッセージをお願いします。

何事にも全力で取り組んでみてください。私自身至らないことが多くありますが、一緒に頑張りたいです。

—終業後や休日の楽しみを教えてください。

映画を見に行ったりします。最近は、近くの公園を散歩したりしています。

—この「Bratto (ぶらっと)」の印象などがあれば教えてください。

建設業協会での活動や活躍されている方々のインタビューなどを拝見しています。読むことで励みになるので、これからも続けていきたいです。



プライベート